

スプリングの交換方法

No.202003-J-01

適用機種

- KHD-6
- KND-8
- NSD-13R
- NSD-340
- KRT-340 (一部異なる機種があります)
- KRDG-340
- KID-420

準備するもの



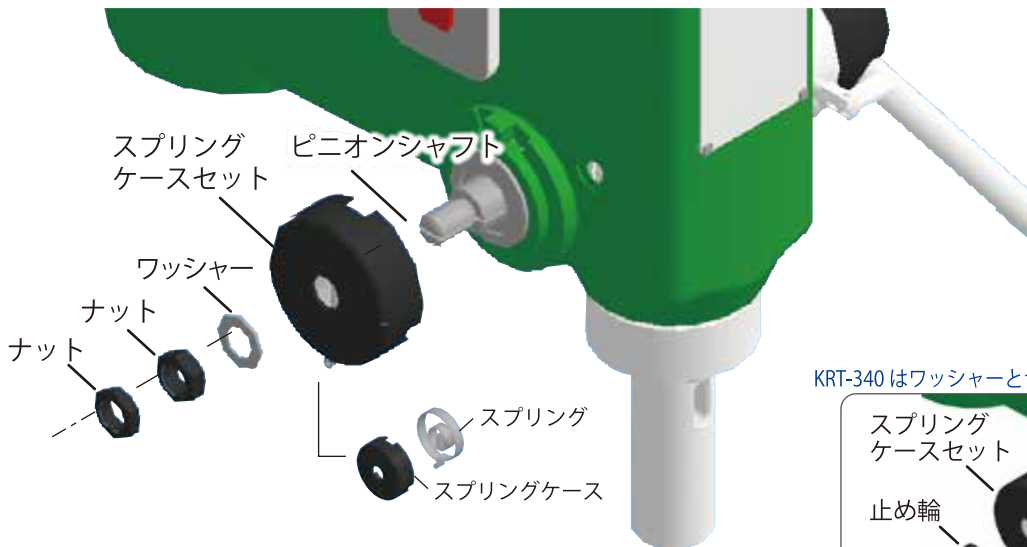
ウエス



スパナ (21mm) 2本

! 必ず電源を切ってから作業を行ってください

分解図



作業を行う前に
すべり防止のために
油をふきとってください



KRT-340 はワッシャーとナットはありません

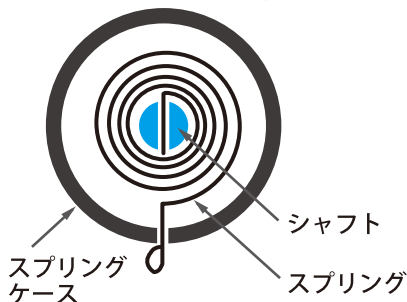


! スプリングケースをシャフトから抜くときの注意

スプリングケースの中の状態

シャフトを抜く前

スプリングの先端をシャフトにかまして、巻いた状態で固定してある



シャフトを抜くと

中のスプリングが一気にゆるんではずみでケースがまわる

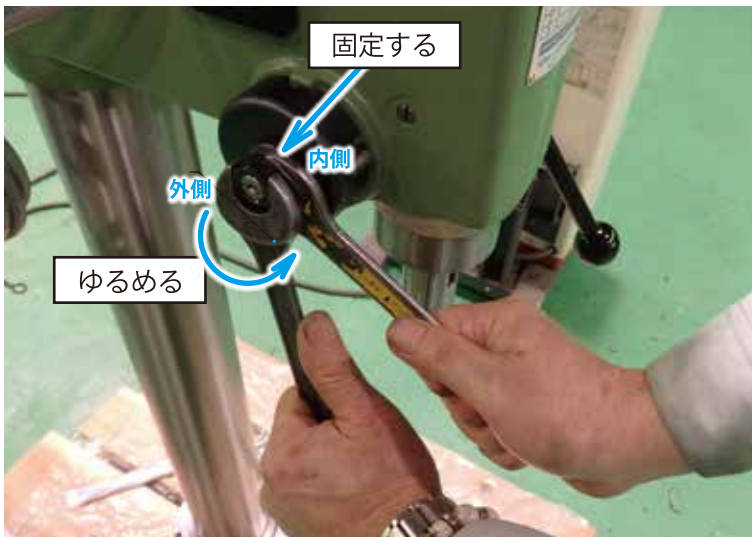


**ここに気を付ける
ひっかけてケガをする場合があります**

**スプリングが戻りきるまでは、
力を入れてゆっくり作業すること**



手順 1



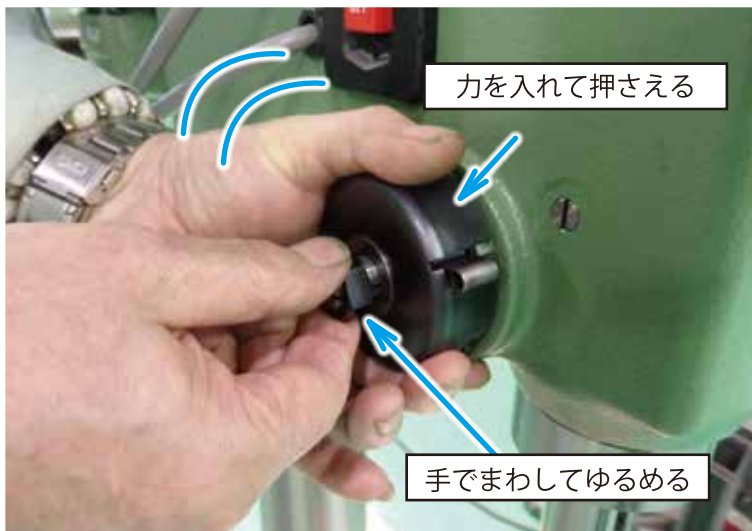
外側のナットをはずす

ナットは厚みが違います

組付けるときに
間違えないように
してください



手順 2



内側のナットをゆるめる

ナットはゆるめるだけで、
はずさずにつけたままにしておく

ナットをゆるめた状態



手順 3



スプリングケースをしっかり持って
少し手前に引く (1~2ミリ程度)

ケースの中でスプリングが一気にゆるんで、
ケースごと回りそうになる

ぐっと、力を入れて、ゆっくり時計回りに
4~5回転ほどケースをまわす

数秒で、中のスプリングはゆるみきって止まります

手順 4

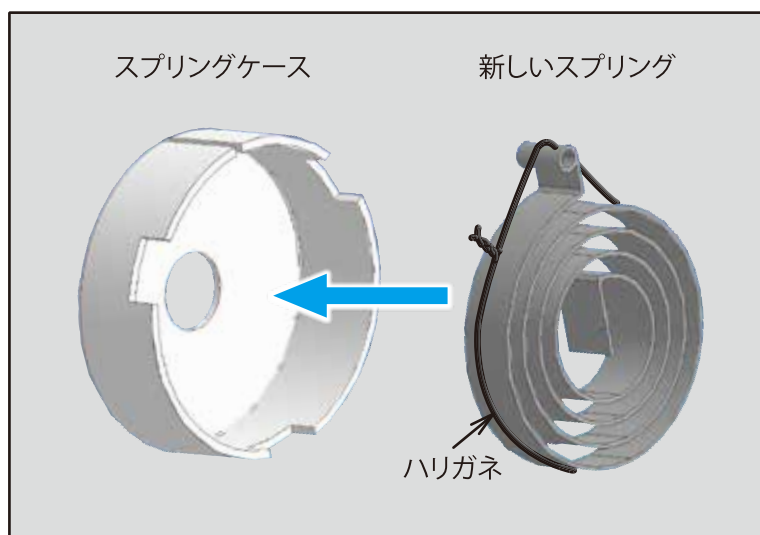


スプリングが完全にゆるんだら、

ナット
↓
ワッシャー
↓
スプリングケース
の順番ではずす



手順 5



ケースから、不良のスプリングを
取り出す

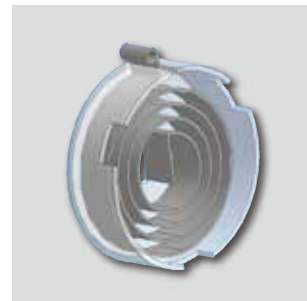
新しいスプリングを必ずハリガネをつけたまま
ケースに押し込む

◆ハリガネをはずすとスプリングは広がって
入れづらくなります

押し込むとハリガネは
はずれます

◆スプリングは、
表・裏があります

図の向きにセット
してください



セットした状態

手順 6



主軸を一番上にあげる

ハンドルを持ったまま、反対の手で
スプリングケースをピニオンシャフトに
差し込む



差し込む時、ピニオン
シャフトの溝に
スプリングの端を
かませてください

手順 7



スプリングケースを時計の針と逆方向に回す(中のスプリングを巻き上げる)

◆ポイント

手を持ち替えながら5～6回程度まわします

手順 8



片手でスプリングケースを押さえたままハンドルを動かして主軸の動きを見る

◆スプリングの巻きがゆるいと、軸の戻りが悪くなる

軸の戻りが悪い場合は、さらにスプリングケースをまわして、スプリングを巻き上げます

主軸が正常に動くように調整する

手順 9

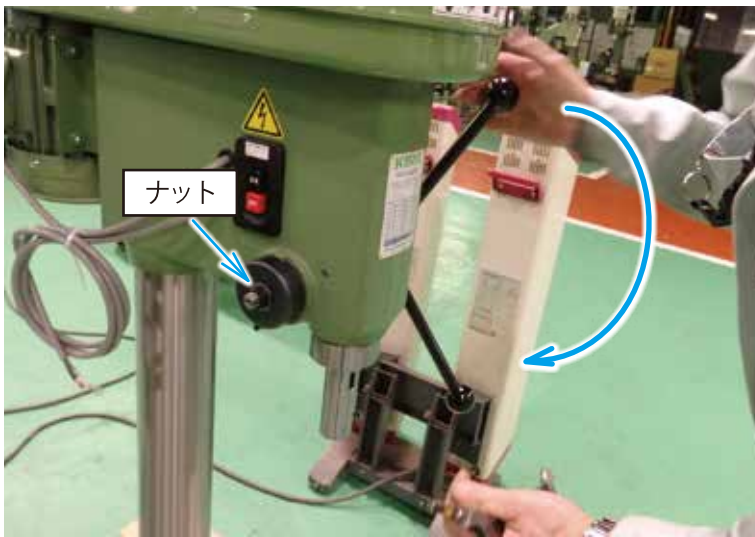


ワッシャーをつける

次に、ナット(厚い方)をはめてスパナが止まるまで締める



手順 10

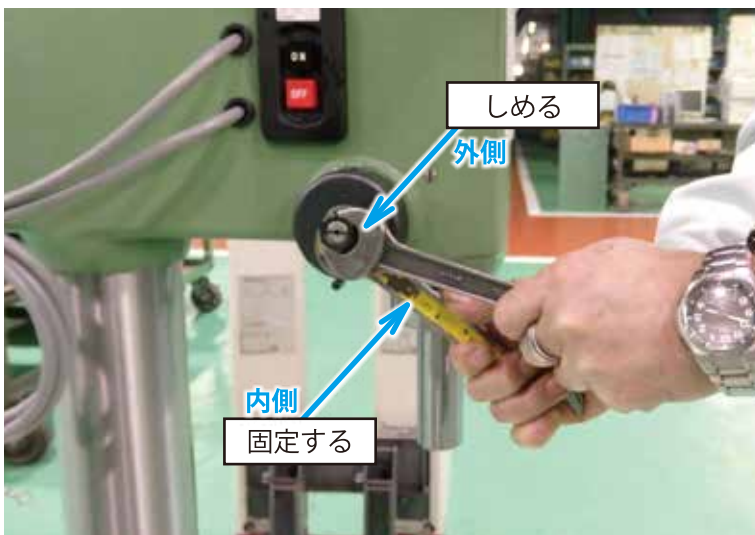


ハンドルを動かして主軸の動きを確認する

◆ナットを締めすぎると軸が戻らなくなります

軸がスムーズに動くようにナットで調整する

手順 11



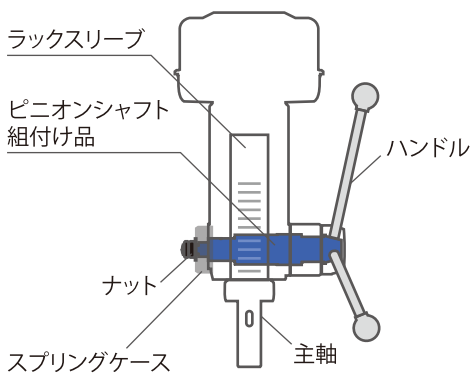
外側のナットを締める

軸の上下動、シャフトのガタ等を確認し、不具合があれば最終調整を行う

交換完了

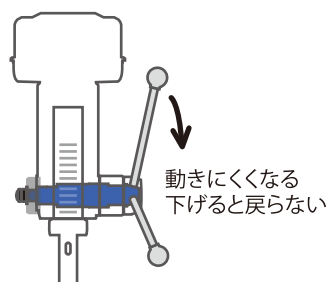
構造図と参考資料

構造



ナットを締めすぎ

ピニオンシャフトが固定されるため、ハンドルが動きにくくなり連動して主軸の動きが悪くなる



ナットがゆるすぎ

左右にガタが出る

